

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。50歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国のワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在3期目。



市民生活の安心安全へ 横浜市会第4回定例会での論戦より

令和6年度第4回定例会では、一般・補正予算議案審査、一般質問を通じて活発な論戦が行われ、公明党市議団が粘り強く求めてきた以下施策において、大きな前進が図られることになりました。

地域の防犯・安全対策強化へ

防犯灯の増設へ

- 昨年10月の公明党による緊急要望を受けて、年度内に260基の増設を決定
- 従来設置が難しかった場所にも太陽光発電式LED灯を積極的に活用

軽量・電源要らずで取り付け場所を選ばない太陽光発電式LED灯の積極的な活用を提案。



防犯カメラ設置を加速

- 公明党の要望により令和5年度より補助額を16→21万円、設置台数を100→150台に拡充
- 来年度、申請方法を簡易化し自治会町内会の負担を軽減し、さらに設置を拡充

物価高対策へ緊急対応

住民税非課税世帯へ給付金

- 1世帯あたり3万円を給付、子ども一人あたり2万円を加算
- 2月中旬にお知らせを送付し、3月上旬から順次支給の予定

災害時の避難所環境を改善

学校体育館へのエアコン設置を加速

- 公明党の提案により令和元年度よりモデル設置がスタート、6年度末までに全505校中115校への設置が完了
- 来年度から国の予算も活用し、設置をさらに加速

民間と連携した温かい食事の提供を検討

トイレトレーラーの追加配備を検討

※このほか、飲料水確保のための浄水ユニット配備も求めています

横浜市に寄贈されたトイレトレーラー▶



地域交通の維持・充実へ

地域交通サポート事業の定着加速へ新制度

- 実証運航期間を2→3年に延長
- 本格運行の経費を最大50%(年間600万円まで)補助

東朝比奈・六浦地区のバス路線復活に希望!

新制度実施により、東朝比奈・六浦地区のバス路線についても、いよいよ復活の見込みが高まります。一方、各バス事業者における乗務員不足が深刻な課題で、こちらも対策が急がれます。

敬老パスを継続、利便性を向上

- 市バス、市営地下鉄、シーサイドライン、市内民営バス路線に加え、各種地域交通でも利用可能に

子育てを支え、こどもたちを守る

こども青少年・教育委員会審査より

12月12日、13日の常任委員会では、社会的養育推進計画策定に関して、虐待などを受けた児童の保護環境の改善に加え、きめ細かな母子・子育て支援の充実など、アーリーヘルプの更なる充実を要望。また、第3次横浜市民読書計画の素案を巡り、子どもたちの情報リテラシーを育む、更なる読書活動の推進を求めました。

《主な報告事項》

小1の壁の打破へ(来年度の予定)

- 小学校の朝の見守り実施校を大幅に拡大
- キッズクラブ・学童の夏休みの昼食提供を改善

図書サービスのアクセス向上へ市立図書館を再整備

- 中央図書館に加えて新たな大型図書館を整備
- 地域館の再生に合わせて一部を中規模図書館に拡張
- 身近な地区センターなどを図書取次所へ



▲キッズ・学童の夏休みの昼食
今年度利用した保護者の満足度は8割にも上りました

皆さまの声を「カタチ」に



富岡東中学校と並木1丁目16街区の間の歩道

通勤通学で駅に向かう皆さまの通行も多いところですが、雑草が伸びて歩きづらいとお声。スッキリと草刈りを行い、歩道本来の広さを復活しました。

六浦1丁目・京急線沿いの道路

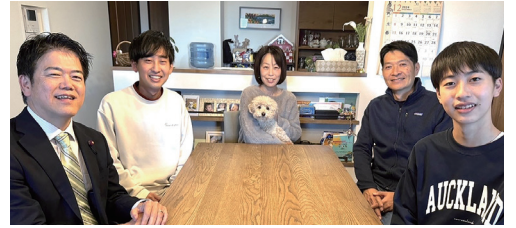
線路敷地から伸びた雑草が道路幅を狭め、掲示板などを覆う状態に。近隣の方からのご指摘を頂き、土木事務所・京急電鉄で速やかに草刈りを実施して頂き、埋もれたゴミ置き場も回復しました。



難病と闘う皆さまを支えたい!

ADSS1ミオパチー患者家族会の菊池さんと初めてお会いしたのは昨年9月。最愛の息子さんが立て続けにこの難病と診断されたこと、ご自身が中心になって患者家族会を立ち上げたこと、治療法の開発を目指して各所への働きかけを続けていることを伺い、子供の無事を願う愛情の深さ、その愛情に裏打ちされた一人の母の強さに深い感銘を受けました。

さっそく公明党の国会議員とも連携し、厚労省への働きかけを行っています。独立した難病指定、希少な難治性疾患の研究・創薬の前進へ、乗り越えるべき課題がいくつもありますが、多くの皆さまのご理解とご支援が、大きな後押しになることを確信しています。私も引き続き、患者家族会の活動を支援して参ります。



▲ADSS1ミオパチー患者家族会の菊池由利子さん、ご家族とともに

エーディーエスエスワン

ADSS1ミオパチー患者家族会へご理解とご支援をお願いします。

ADSS1ミオパチーは指定難病の先天性ミオパチーに分類されており、ADSS1遺伝子変異が原因の進行性筋疾患です。下肢などの筋力低下だけでなく、呼吸障害、咀嚼障害を伴う嚥下障害、心臓の異常などを併発することが多く、症状によっては命に危険が及ぶことがある病気です。診断された人は日本で80人程、世界でも200人未満の超希少疾患であり、発症率は100万人に1人とされています。

24歳の長男は学生時代運動部に所属していました。スキーやSUPなども楽しみ体を動かすことが好きでしたが、現在は階段の昇降には手すりが必要で、走ることは出来なくなり、それまで楽しんでいたスポーツをすることが難しくなりました。中学生の次男は検査の結果、下肢筋力の疲労感が強く、嚥下機能が弱いことがわかりました。体育の授業にも影響が出てきたり、食事中によくむせるので注意が必要です。

“自分の足で歩く” “子供を抱っこする” “たくさん息を吸う” “美味しいものを笑顔で食べる”

いまでできることを、一日でも長く私たちADSS1ミオパチー患者家族会の患者・家族の願いです。

ADSS1ミオパチーには現在治療法・治療薬はなく、少しでも進行を遅らせるためのリハビリが大切ですが、ミオパチー自体珍しい病気であるため専門的なリハビリを受けられる所を見つけることはとても難しく、患者家族の交流のなかで症状にあったリハビリや医師についての情報交換をしている状況です。

治療法開発についても研究が進められていますが、治療薬が出来るまでには数年～数十年かかるかもしれません。そこまで待っても出来ないかもしれませんが、薬ができる可能性があるということは、患者と家族にとって、大きな希望の光となります。一人でも多くの方に「ADSS1ミオパチー」という病気があることを知っていただき、活動にご理解とご協力をいただきたいと思います。そして、私たちの活動が治療法開発の実現に繋がることを願っています。



ADSS1ミオパチーおよび患者家族会の詳細はホームページをご覧ください。

ADSS1ミオパチー患者家族会 菊池 由利子(金沢区在住)

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



f <https://www.facebook.com/takenouchit/>
X https://twitter.com/takenouchi_t

たけのうち猛
LINE
お友達登録はこちら▶

